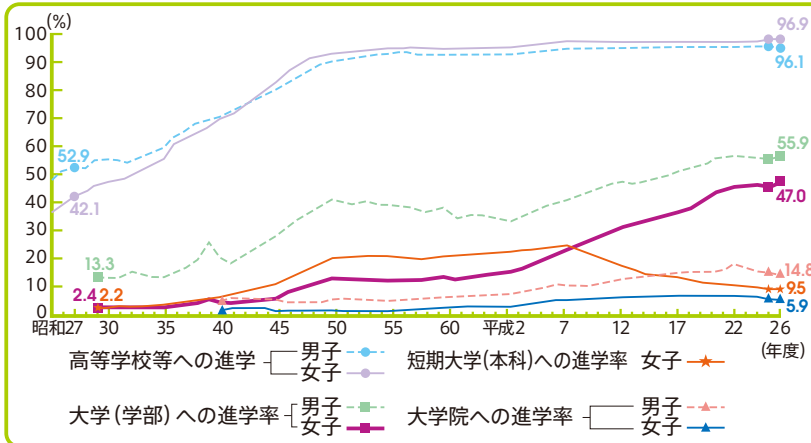


教育・研究分野における男女共同参画

1 学校種類別進学率の推移



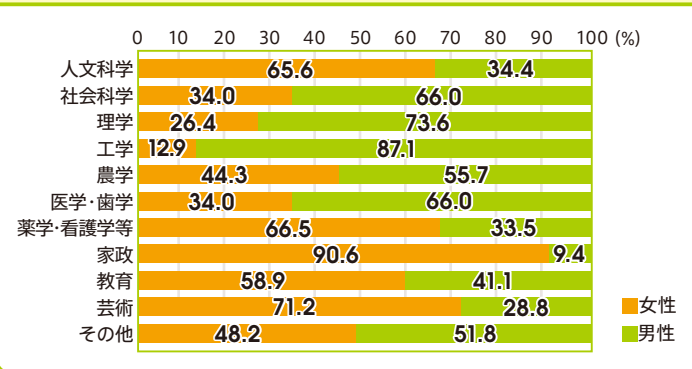
女性の大学(学部)進学率は47.0%であり、短期大学への進学とあわせると56.5%となっています。他の先進国と比較すると未だ低水準にあるものの、学部進学率は上昇傾向にあります。

備考

1. 文部科学省「学校基本調査」より作成。
2. 高等学校等：中学校卒業後及び中等教育学校前期課程修了者のうち、高等学校等の本科・別科、高等専門学校に進学した者の占める割合。ただし、進学者には、高等学校の通信制課程(本科)への進学者を含まない。
3. 大学(学部)、短期大学(本科)：過年度高卒者等を含む。大学学部・短期大学本科入学者数(過年度高卒者等を含む。)を3年前の中学卒業後及び中等教育学校前期課程修了者数で除した割合。ただし、入学者には、大学又は短期大学の通信制への入学者を含まない。
4. 大学院：大学学部卒業者のうち、直ちに大学院に進学した者の割合(医学部、歯学部は博士課程への進学者)。ただし、進学者には、大学院の通信制への進学者を含まない。

2 専攻分野別に見た学生(学部)の男女割合

理学、工学分野における女子学生比率は少なく、専攻分野別に男女の偏りが見られます。

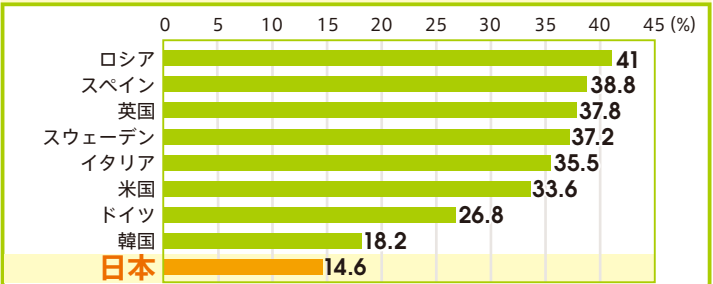


備考

文部科学省「学校基本調査」より作成。

3 研究者に占める女性割合の国際比較

我が国の女性研究者数は増加傾向にありますが、その割合は諸外国と比較すると、なお低い水準にあります。

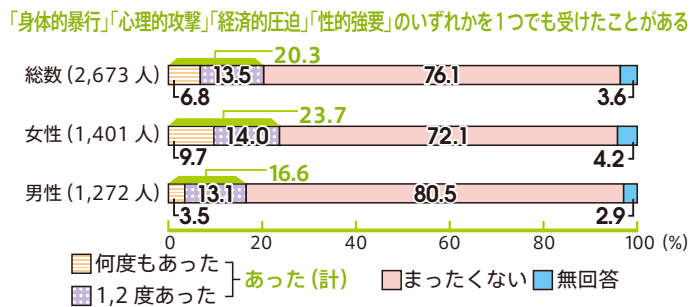


備考

1. 日本の値は総務省「平成26年科学技術研究調査報告」、韓国の値はOECD「Main Science and Technology Indicators」、米国の値は米国国立科学財団(National Science Foundation: NSF)「Science and Engineering Indicators 2014」、EU加盟国等の値はEU「Eurostat」より作成。
2. 日本の数値は、2014(平成26)年3月31日現在の数値。韓国は2013(平成25)年、スウェーデン、ドイツは2011(平成23)年値、米国は2010(平成21)年値。その他の国は2012(平成24)年値。推定値、暫定値を含む。
3. 米国の数値は、雇用されている科学者(scientists)における女性割合(人文科学の一部及び社会科学を含む)。技術者(engineers)を含んだ場合、全体に占める女性科学者・技術者割合は27.5%。

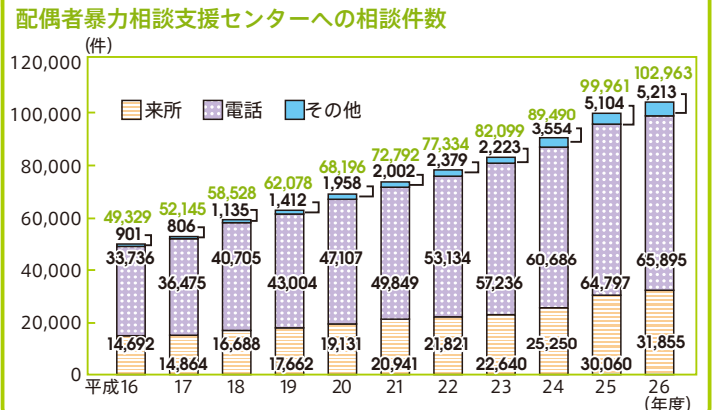
配偶者からの暴力

配偶者(事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含む)から、これまでに「身体的暴行」「心理的攻撃」「経済的圧迫」「性的強要」のいずれかを1つでも受けたことが「何度もあった」という人は、女性では9.7%、男性では3.5%となっています。また、配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数は、年々増加しています。



備考

1. 内閣府「男女間における暴力に関する調査」(平成26年)より作成。
2. 身体的暴行：殴ったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた。心理的攻撃：人格を否定するような発言、交友関係や行き先、電話・メール等を細かく監視したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなた若しくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた。経済的圧迫：生活費を渡さない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害された。性的強要：嫌がっているのに性的な行為を強要された、見たくないポルノ映像等を見せられた、避妊に協力しない。



備考

内閣府調べ。